

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月25日

計画の名称	安全で安心な春日井の都市公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	春日井市												
計画の目標	<p>朝宮公園は、昭和53年に愛知県により供用開始され、スポーツを楽しむ場、健康づくりの場、憩いの場、子ども達の遊び場として今も市民に広く親しまれている。</p> <p>しかし、供用開始から30年以上が経過し、同公園の有効活用について県と市で協議を重ね、平成29年4月に愛知県から市に移管を受けた。</p> <p>近年、東海・東南海地震が懸念される中、広域避難場所に指定されている朝宮公園において、多目的総合運動広場と観覧スタンドを新たに建設することで、避難者の受け入れや炊き出しが可能となるなど災害時に対応できる防災機能を備えた公園整備を行う。</p> <p>また、スポーツ施設を含め、公園全体の魅力を高め、子どもから高齢者まで幅広い市民の健康の維持・増進に寄与する公園の再整備を行う。（平成29年度に「朝宮公園整備基本計画」を策定）</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	624	A	624	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H34最終
1	<p>広域避難所である朝宮公園の収容可能人数を52,200人（現状値）から58,800人（5年後）に増加させる。</p> <p>広域避難所である朝宮公園の収容可能人数</p>	52200人	人	58800人
2	<p>災害に対して不安なく暮らせると思う人の割合（％）を35.8（％）から40.0（％）に増加させる。</p> <p>災害に対して不安なく暮らせると思う人の割合</p> <p>市民意識調査で「災害に対して不安なく暮らせると思う」と答えた人の数 / アンケート回答総数 × 100</p>	36%	%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	H32	H33	H34					
									一体的に実施することにより期待される効果												
									備考												
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	春日井市	直接	春日井市	-	-	都市公園事業(朝宮公園)	プール等解体、多目的運動広	春日井市						624	4.46	-		
												小計						624			
												合計							624		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	担当事業課である文化スポーツ振興課にて評価・検討を行い、その結果について学識経験者等の意見を求め評価を行った。なお、本事後評価は、整備内容や成果目標を引き継いだ後継事業「都市再生整備計画 朝宮地区」（都市構造再編集集中支援事業 R2～R6）の事後評価と併せて実施した。	事後評価の実施時期	令和7年12月
		公表の方法	春日井市ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難者の収容可能人数が増加したことで、広域避難場所としての機能向上につながった。</li> <li>・災害に対して不安なく暮らせると思う人の割合について、当初現況値（36%）より上昇しているものの、割合増加に対する効果は限定的であり、目標値に至らなかった。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	陸上競技場（多目的総合運動広場）を始めとする朝宮公園の整備により、大規模大会の開催や、練習場所の確保につながり、市民の屋外スポーツ活動の核となる環境が創出され、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用されている。

特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備されたスポーツ施設等を活用した大会やイベントなどの開催を継続・促進し、市民や利用者の満足度向上を図る。</li> <li>・広域避難場所である朝宮公園の役割について周知・啓発し、災害に対する地域住民の意識向上を図る。</li> </ul>
---

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	58800人	陸上競技場（多目的総合運動広場）やテニスコートなどの整備により、避難者の収容に適した部分の面積が拡大したことにより収容可能人数の増加につながった。
	最終実績値	58800人	
2	最終目標値	40%	指標の元データとなる最新の市民アンケートの実施時期（令和3年7月～8月）近辺での災害状況、社会情勢の影響等により、目標値を下回ったと推察される。 陸上競技場（多目的総合運動広場）の供用開始時期：令和3年7月）
	最終実績値	38%	